

特集 産後ケアを始めましょう

助産師が行なう産後ケア その意義と大切にしたいこと 豊倉 節子
とよくら産後ケアハウスを訪ねて 宮崎 雅子

【産後ケア施設紹介】

お産の家 Be born 産後養生院

たつの ゆりこ

宮下助産院

宮下 美代子

武蔵野大学附属施設 産後ケアセンター桜新町

萩原 玲子

まつしま病院

小竹 久美子

東京厚生年金病院

中島 陽子ほか

なぜいま「産後ケア」が求められるのか

お母さんに寄り添い必要な支援を考える

福島 富士子

【産後ケア,これだけは押さえておきたい】

①母乳育児支援

菅原 光子

②骨盤底のケア

中田 真木

③メンタルヘルスケアと家族関係支援

宗田 聡

カレントフォーカス

震災直後のお産を取りあげた助産師を石巻を訪ねて 菊地 栄

インタビュー

吉村泰典医師に聞く 少子化対策の方向性

河合 蘭

CRS の子を授かって 当事者のお母さん 2 人に聞く 聞き手：大塚 寛子

TOPICS

風疹流行と人工流産増加の関係

加藤 茂孝

連載

いのちをつなぐひとたち ② 杉本 充弘さん

仁志田 博司

周産期の生命倫理をめぐる旅 あたたかい心を求めて ⑩

吉田 穂波

災害時の母子保健 妊産婦を守る助産師の役割 ⑨

進 純郎

助産よもやも話 ⑦

宮崎 雅子

いのちのささやき ③④

富田 江里子

バルナバクリニック発 ぶつぶつ通信 ⑪

山本 千恵子

まんが 母って大変。⑬

編集後記

●今号特集は他人事ではなく、自分のこととして受け止めました。知らなかった、ということが一番の後悔になるのであれば、若い男子・女子には10代から、子どもを授かることのできる適齢期を情報として伝えたいですね。その先の選択肢は個人の自由だとしても。もし仕事をしながら妊娠・出産するのであれば、家族での子育てが基本であることも伝えたいことです。(竹内)
●来月号では産後ケアを特集します。女優さんが韓国の産後調理院を利用されたニュースで注目されましたが、それはまったく特殊な事例ではなく、晩産化・核家族化のなかで多くのお母さんがもっているニーズなのだと思います。特集では専門施設、助産院、病院、それぞれですでに実践を始めている方々にご登場いただきます。ぜひご覧ください！ (栗原)

助産雑誌 第67巻 第9号
2013年9月25日発行 毎月1回発行

発行：株式会社医学書院
代表者：金原優
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2013, Printed in Japan

■1部定価
1,365円(本体1,300円+税5%)
■2013年年間購読料(税込・送料弊社負担)
冊子版 15,600円
冊子+電子版/個人 18,600円
冊子+電子版/共有 21,000円
電子版/個人 15,600円
電子版/共有 18,000円

■編集室
☎03-3817-5773 FAX 03-5804-0485
✉josan@igaku-shoin.co.jp
担当 竹内/栗原/早田
📧http://twitter.com/josanzasshi
📧http://facebook.com/josanzasshi
■販売部販売課
☎03-3817-5659
■医学書院ホームページ
http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。
[JCOPY] (社)出版者著作権管理機構 委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。